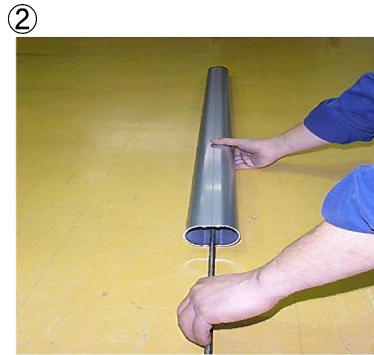


Z070 Z071 前輪自在ダブルタイヤ 組立図

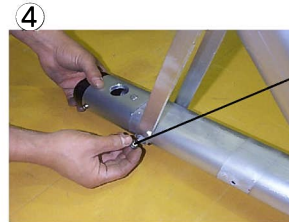


① 本体フレームのエンドキャップをはずします(2001年以前のタイプはネジはついていません)

キャップが外れにくい場合は②の様に棒で押して下さい



③ ジョイントセットを先端部に差し込みます



④ スターのボルト

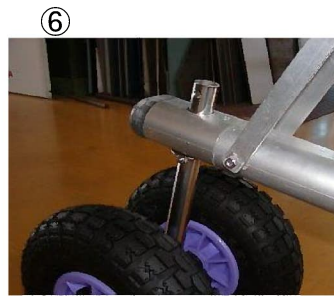
スターのボルトを外して挿入し固定します



⑦ 最後に取っ手をボルト&ナットで取り付け完了です



⑤ フロントユニットの止めボルトの上と下にワッシャー、を入れ先端部に差し込みます



※写真はタイヤが組み込まれていますがタイヤは別に入っていますので組み込んでください
 ※写真のタイヤはZ071(Dタイヤ)ですがZ070(Aタイヤ)も同じです
 ※ボルト、ナット、Dリングは出荷時フロントユニットに組み込まれています

最後に取っ手をボルト&ナットで取り付け完了です

品番	品名	数
Z075-1	Z070用取っ手フレームステンレス	1
Z072	Z070用SUST型フレームセットボルト、W、Dリング付	1
Z077	先端ジョイントセットZ070用(F620に使用)	1
Z6038	エンドキャップ50×70	1
P01-TB5-14	SUSプラスナベタッピングビスB1(2種)5-14	1
P06-27	Fタイヤ用ワッシャー M27W φ27xφ40x2t	2
P04-8-50	SUS六角ボルトM8-50	1
P15-08	SUSナイロンナットM8	1
P01-6-35	SUSプラスナベM6-35	1
P15-06	SUSナイロンナットM6	1
Z521	Dリング	4
タイヤはご購入された商品により異なります。		
TA40A	Aタイヤ ベアリング4.80/4.00-8新キャップ	2
TA30D	Dタイヤ ベアリング410/350-5ホス幅82mm	2

組まれています

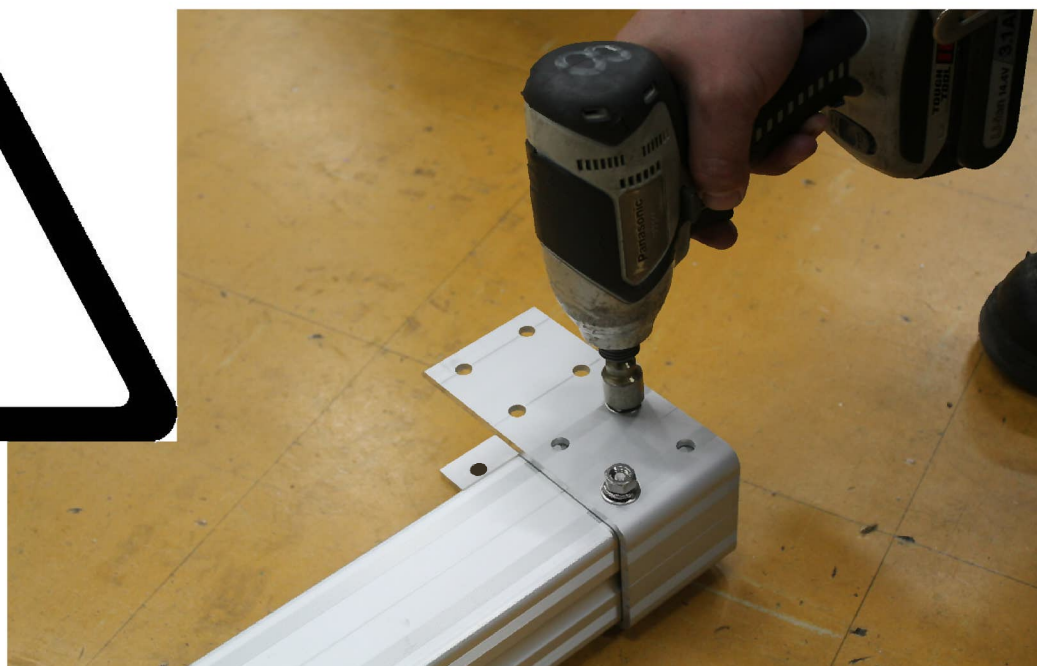
ご使用上の注意

- 組立て後、各部のネジの緩みを点検し乾燥させて下さい。
- タイヤ空気圧は0.8Kg以下でご使用下さい。
- タイヤ車軸部にオイル、グリス等はつけないで下さい。砂がついてしまいます。
- 動力での牽引はおやめ下さい。

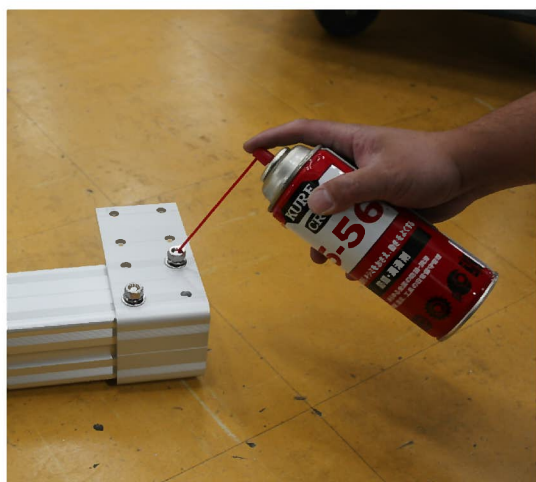
<<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。

タイヤご使用上の注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
弊社のエアータイヤにつきまして下記のことにご注意してご使用下さい。

TA40F/TA40G/TA40J (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チュープレスタイヤですのでチューブは入っておりません。
- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。特に夏場は直射日光で内圧が高まりますので必ず数値内でご使用下さい。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が低下するとタイヤの内圧が下がり、チュープレスタイヤなので空気が抜けてしまう場合が有ります。船を載せて保管される場合は時々空気圧のチェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置すると、ヒビ割れして空気の再注入が不可能となってしまいます。長期保管の場合には、台車の下にブロック等を入れておく事をお勧めします。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生します。時々点検していただくようお願い致します。

TA40A(アルミランチャー、トランサムドローリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。
- 交換用タイヤ(外側)とチューブは別途販売しています。適宜交換下さい。

TA30D(サーフ系ランチャー、Z071 前輪等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0kg～1.5kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。

上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります。ベアリング部にはグリス等を塗布しないようにして下さい。砂、埃、が付着して磨耗の原因となります。ベアリング部は良く水洗いしてください。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気は、ガソリンスタンド等に置いてある自動車、バイク用の空気入れで入れられます。一般自転車用の空気入れではバルブ形状が合いません。詳しくはHPをご覧ください。

空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1